

おじいちゃんおばあちゃんへ

夏休みに遊びに行った時、東日本大震災の話を聞いて、私は地震と津波のこわさを知りました。宮城県に住んでいるおじいちゃんとおばあちゃんは、二〇一二年三月の東日本大震災の時、三階に住んでいましたが津波がきてしまっ、もうだめかもしれない。と思いつながら五階まで上がって何とか助かりました。避難所の生活では二人で食べ物分けたり、菓がたよくなった時は何時間もかけて歩いて病院に行き、また何時間もかけて避難所にもとってきたりと生きることに必死だったという話を聞いて大変さを知りました。私は、二〇一二年に生まれたので、もしその時に二人が命を落としていたら会えなかつたと思うと悲しい気持ちになりました。夏休みに遊びにびに行くといつも私の大好きなエビフライを作ってくれてありがとうございます。体調が悪そうな時でも夜おそくまでカードゲームで遊んでくれてありがとうございます。二人が生きることができたから今、楽しい時間をすごすことができます。おじいちゃんおばあちゃん生きていてくれてありがとうございます。